

「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る研修計画書

【1. 機関・団体概要】

機関・団体名	特定非営利活動法人 教育研究所
機関・団体代表者 (役職・氏名)	理事長 牟田武生
所在地	〒233-0013 横浜市港南区丸山台 2-26-20
電話番号	045-848-3761
F A X 番号	045-848-3742
メールアドレス 本研修担当者	contact@kyoken.org 担当者名：久玉和昭
H P アドレス	http://kyoken.org
研修実施場所（所在地と異なる場合のみ記載）	〒938-0282 富山県黒部市宇奈月温泉 5509-16
設立目的（概要で可）	不登校・ひきこもりなどの青少年の自立支援
職員数	全職員数 9名（常勤 6名 / 非常勤 3名）
機関・団体におけるアウトリーチの特徴や特色を記載	教育研究所では過去 40 年にわたり、不登校・ひきこもりなどの若者の支援活動を行い、その累積したノウハウを基に、ひきこもり・ニートなどの訪問支援にも活用しています。
機関・団体で運営している相談・支援機関名	にいかわ若者サポートステーション
例（●●サポートステーション）	宇奈月自立塾
（●●ひきこもり地域支援センター）	

【2. 平成26年度中のアウトリーチの実績概要】（訪問件数、対象、支援方法等を箇条書きで記載）

①サポステ事業で155件（述べ数）対象年齢15歳～39歳

②富山県「富山県生活保護受給者のための社会的居場所づくり事業」訪問支援数 68件（述べ）対象年齢中学生～59歳

③当団体でのアウトリーチ 65件 対象年齢中学生～59歳

本人以外でも要請があれば、親、公共機関等からも実施、①の事業は主にサポステへの誘導（病院へリファーマ等もあり）本人と会えないケースもある②の事業は主に福祉課ケースワーカーと始めは訪問し、その後は単独で行うケースがある。社会参加を促す事業で、他機関へのリファーマや自立塾への入塾、病院へ付き添い等がある。95%本人と会えるが、心の問題以外の部分も強く、難しいケースが多い。③の事業は主に全国各地に行く、社会参加への促し、付き添いが主。

【3. 過去3年間における国又は地方公共団体の委託事業や自主事業等】

（委託事業・自主事業名等やその概要について箇条書きで記載）

富山県より平成24・25・26年度「富山県生活保護受給者のための社会的居場所づくり事業」

文部科学省より平成25年度「いじめ等生徒対策推進事業」

内閣府より平成24・25・26年度「内閣府アウトリーチ研修」

厚生労働省より平成25・26年度「地域若者サポートステーション事業」

【4. 過去2年間における子ども・若者の支援に係る研修実績】

（他機関・団体職員の研修受入を行った実施概要＜研修概要、他機関・団体名、期間、人数＞を箇条書きで記載）

・「内閣府アウトリーチ研修」25年度は1名。26年度は3名の研修を実施

・当団体のアウトリーチ（サポステ事業内も含め）実績毎年80名前後実施述べ回数300件程

・サポステ事業内で「集中訓練プログラム」（合宿支援）を実施（25年度、26年度）

・富山県「富山県生活保護受給者のための社会的居場所づくり事業」で訪問支援年齢が14歳～59歳まで実施年50件程

【5. 「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る担当者、受入条件、研修内容等】

	「アウトリーチ研修」実施上の役割(職名)	氏名	・関連保有資格 ・アウトリーチの経験年数
1	スーパーバイザー	牟田武生	40年以上にわたり不登校・ひきこもり自立支援を行なう。 平成20年度若者自立支援功 労団体等厚生労働大臣表彰
2	チーフキャリア カウンセラー	牟田光生	宇奈月自立塾にて10年間ニ ートなどひきこもりの若者の 自立支援
	コーディネーター	久玉和昭	不登校・ひきこもり等の若者 の自立支援経験34年
	心理アドバイザー	大場隆広	臨床心理士 東京都心理カウンセラー

受入条件	
受入可能な日程 (平成27年9月28日 ～ 平成27年1月16日の間)	平成27年10月5日～平成27年10月9日
受入可能な人数 (原則年間4名を 上限とする)	4名
保有資格の要否、 その他の受入条件	①22歳以上 ②若者の自立支援に意欲を持って取り組むことの出来る人 ③現在の青少年問題に関心のある人 上記の要件を全て満たす者
研修期間中にアウトリ ーチを行う予定回数	2回

研修内容	
※下記の「初日」～「最終日」までの内容は過去に実施した実地研修を参考とした 予定となり、同行訪問やプログラム等の参加・開催に併せて随時変更となります。	

研修全体の概要	宇奈月自立塾で、現在困難を抱えた若者達と生活し触れ合い、様々な視点から訪問支援員としての心構えはもちろんスキルを身につけていく。
初日	オリエンテーション
2日目	ひきこもり・ニートの心理、対応等の具体的な理論講座を受講 寮生との運動・ディスカッションを通じてのひきこもり・ニート等の理解 寮生の日常的な生活補助
3日目	訪問支援者の心理背景・生育過程などの総合的な事前研修を行い、様々な支援ポイントを押さえ、禁忌事項なども伝える
4日目	スタッフと共に訪問支援を行う、午前、午後で2、3件行う。
最終日	昨日の事後研修を行い、現場で出た問題点を検討し、解決策を考える。 5日間のまとめ
研修内容の配分	前半部は理論や考え方、等のポイントを押さえ、後半部は実際に訪問支援を行い、フィードバックしていく。
研修生の宿泊について	研修中は当NPOの宿泊寮(AHEビル)に宿泊
備考欄	活動しやすい服装を持参（運動靴、運動服など）